

令和7年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

校長名 川口 周作

教育目標

校訓「自主創造」

○すすんで（自主・自立）

○みんなのために（共生・貢献）

◎たくましく（健康・大志）

1 目指す特色ある学校像

- （1）自ら学びに向かう力を育む学校
- （2）豊かな人間性を育む学校
- （3）心と体の健康の保持増進を育む学校

2 経営の具体策

- （1）意欲をもって自ら学ぶ児童の育成（学ぶ楽しさ）
 - ・どの授業でも「じっくり考える」場面や、その考えを「発表し交流する」場面を創り出す。
 - ・言語活動の充実と「考える楽しさ」「わかる楽しさ」の授業の工夫と改善を図る。
 - ・体験活動やICTを活用した探求学習を実践する。
 - ・豊かな言語感覚を育むために、読書活動の充実と俳句や作文を書く活動を積極的に実践する。
- （2）人への優しさと自分への強さをもった児童の育成（人とのかかわる楽しさ）
 - ・道徳の時間や情報モラル教育等を通じた、思いやりの心、生活態度や社会的な判断力など規範意識を育む。
 - ・地域の方々と様々な方法で関わるまちづくり学習、交流活動やキャリア教育活動を通じた、地域社会の一員としての自覚を育む取組を積極的に実践する。
 - ・全教育活動において多様な考えを認め、自分の考えや思いを伝える活動に取り組む。
- （3）心身ともに最後までやり抜く児童の育成（元気に育つ楽しさ）
 - ・令和6，7年度体育健康教育推進校として、体育的活動・生活習慣指導・保健指導などを通して体力の維持向上と健康増進に取り組む。
 - ・給食指導や食に関する活動、食に対する意識向上で健全な成長を目指す食育の推進を図る。
 - ・学年担任、養護教諭、スクールカウンセラー等と密に連携をし、児童の心の安定を図る。

まちづくり学習の推進に向けた方策

総合的な学習の時間を中心に学習を進め、キャリア教育や教科横断的な学習とも関連させながら学習活動を行い、学年末においては自己の振り返りや今後のまちづくりについて考えていくことができるように計画的に進める。

小中一貫教育推進に向けた方策

「知の統合」・わけ（理由）をそえた授業展開 ・ブリッジプログラム ・学びの習慣化
「形の統合」・合同学校運営協議会 ・合唱コンクール等への相互参加 ・合同指導の実施
「まちづくり学習の充実」・合同あいさつ運動 ・地域活動への参加 ・学習の情報発信